

# エコアクション21 環境経営レポート



令和2年度版  
(運用期間:令和2年4月1日～令和3年3月31日)



光進工業株式会社



作成日付:令和 3年 6月 2日

# 目次

<b>1, 事業活動の概要</b>	
1-1 事業概要	1
1-2 対象範囲	1
1-3 事業の規模	1
1-4 会社沿革	2
1-5 組織図	2
1-6 処理実績・許可一覧	
1-6-1 処理実績	3
1-6-2 建設業許可一覧	3
1-6-3 一般廃棄物収集運搬業許可一覧	3
1-6-4 産業廃棄物処分業許可一覧	3
1-6-5 産業廃棄物収集運搬業許可一覧	4
1-6-6 車両の種類と台数一覧	4
<b>2, 企業理念・環境経営方針</b>	
2-1 社訓・企業理念	5
2-2 環境経営方針	6
<b>3, 環境経営目標</b>	
3-1 当年度及び環境経営目標	
3-1-1 事務所編	7
3-1-2 工事編	8
3-1-3 陽だまり寮編	8
<b>4, 環境経営計画</b>	
4-1 環境経営計画	
4-1-1 事務所編	9
4-1-2 工事編	10
4-1-3 陽だまり寮編	10
<b>5, 目標実績・次年度の経営計画</b>	
5-1 目標実績及び次年度の取組内容	
5-1 実施体制	11
5-1-1 事務所編	12
5-1-1① 活動計画の取組結果	12
5-1-2 工事編	13
5-1-2① 活動計画の取組結果	13
5-1-3 陽だまり寮編	13
5-1-3① 活動計画の取組結果	13
5-1-4 別表(グラフ)	14
5-2 次年度の環境経営計画の内容	15
<b>6, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・違反訴訟等の有無</b>	
6-1 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・違反訴訟等の有無	15
<b>7, 代表者による全体評価と見直しの結果</b>	
7-1 代表者による全体評価と見直しの結果(総評)	16
<b>8, 取組内容</b>	
8-1 取組内容1～6	17～22
<b>9, 廃棄物処理フロー図・一般廃棄物収集運搬フロー図</b>	
9-1 廃棄物処理フロー図1～7	23～29
一般廃棄物処理フロー図8	30

# 事業活動の概要

## 1-1, 事業概要

- 【事業所名】 光進工業株式会社
- 【代表者名】 代表取締役 細川 忠広 (ホソカワ タダヒロ)
- 【所在地】 本社工場 : 北九州市小倉北区西港町125番8号  
陽だまり寮 : 北九州市小倉北区日明5丁目5-28
- 【設立年月日】 昭和53年11月(創業より47年)
- 【資本金】 2,000万円
- 【環境管理責任者】 輸送事業部 部長 橋本 正孝 (ハシモト マサタカ)
- 【連絡担当者名】 経理課 玉井 和美 (タマイ カズミ)
- 【連絡先】 TEL(093)581-7046  
FAX(093)581-7007
- 【E-mail】 [info@k-recycle.com](mailto:info@k-recycle.com)
- 【ホームページ】 <http://www.k-recycle.com>
- 【事業の内容】 産業廃棄物処分業(破碎・圧縮・溶融)・産業廃棄物収集運搬業  
一般廃棄物収集運搬業(A類)  
建設業(土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業)  
再生材料販売・合材木材販売・更生保護事業
- 【当社の事業年度】 4月1日～翌年3月31日

## 1-2, 対象範囲

- 【認証・登録範囲】 全組織・全活動

## 1-3, 事業の規模

	単位	平成30年	平成31年	令和2年
売上高	百万円	520	562	524
従業員数	人	37	40	31
事業所面積	m2	332	332	332
倉庫床面積	m2	1312	1312	1312
資機材置場面積	m2	2225	2225	2225
工場・作業所等床面積	m2	6386	6386	6386

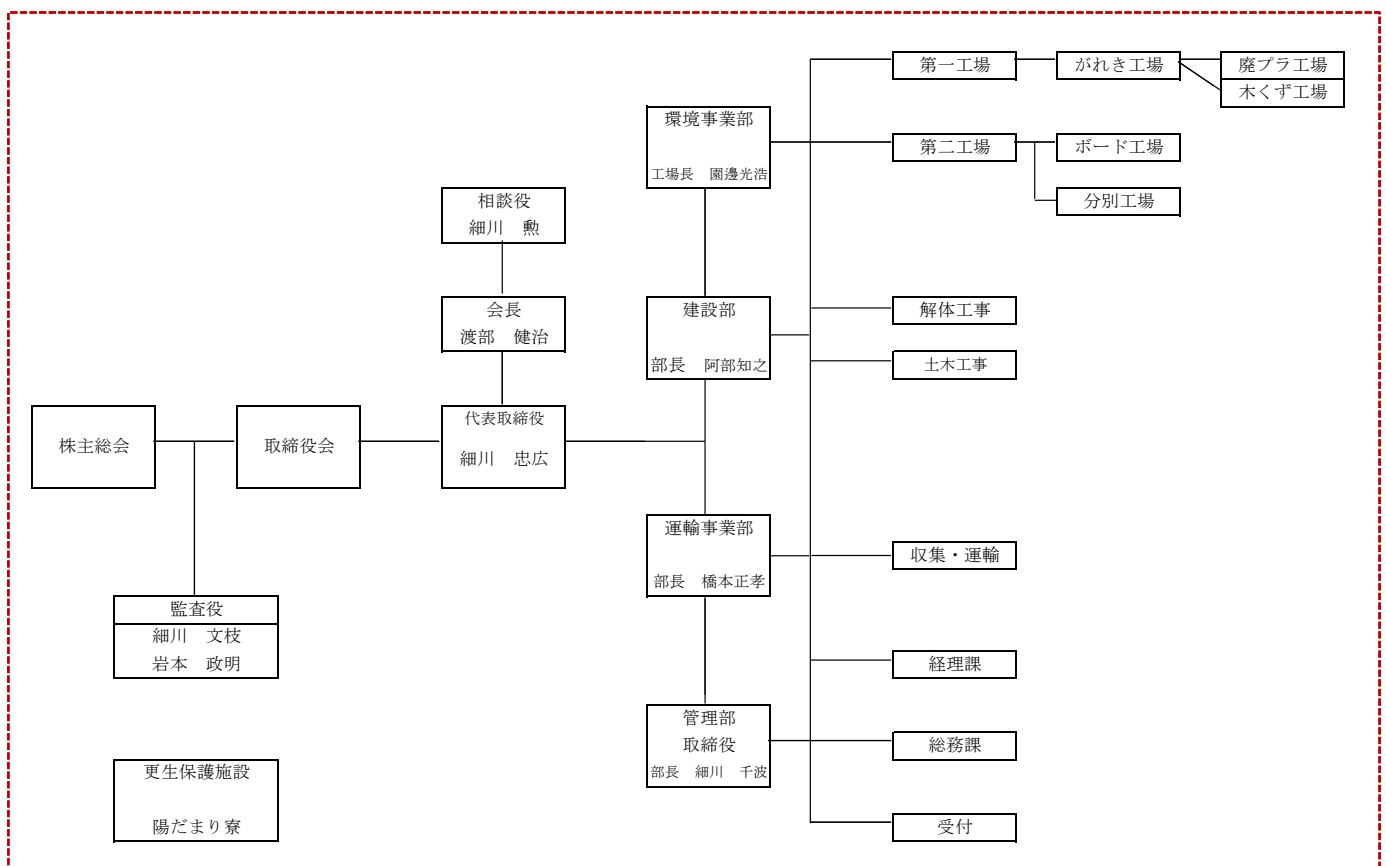
## 1-4,会社沿革

- 昭和46年 個人経営として、北九州市小倉北区日明にて【光進工業】を創業
- 昭和48年 建設業許可を取得
- 昭和53年 資本金3,000,000円で、【光進工業株式会社】を設立
- 昭和54年 産業廃棄物収集運搬許可取得
- 昭和56年 北九州市小倉北区西港町へ、事務所移転
- 昭和63年 資本金6,000,000円に増資  
北九州市小倉北区西港町に新事務所移転・車庫設置
- 平成5年 産業廃棄物処分業許可取得
- 平成6年 資本金10,000,000円に増資
- 平成7年 現在の事務所 北九州市小倉北区西港町125-8に移転
- 平成10年 一般廃棄物収集運搬許可所得
- 平成15年 北九州市より、産業廃棄物業優良業者として認定（平成15年度）
- 平成16年 廃石膏ボードのリサイクル製品がエコプロダクツに認定
- 平成18年 北九州市より、石膏ボード2次製品が環境自慢に認定
- 平成20年 北九州市より、産業廃棄物業優良業者として認定（平成20年度）
- 平成24年 資本金20,000,000円に増資  
エコアクション21を取得
- 平成26年 鞍手事業所を開設（平成26年7月1日）
- 平成27年 社会復帰を目的とした更生支援寮【陽だまり寮1号館】を建造（民間企業として日本初）
- 平成28年 鞍手事業所を閉鎖（平成28年4月15日）
- 平成30年 北九州市より「環境にやさしい事業所」として表彰
- 令和元年 社会復帰を目的とした更生支援寮【陽だまり寮2号館】を建造



## 1-5,組織図

### 組織図



対象範囲

1-6,処理実績・許可一覧

1-6-1,処理実績

(t)	がれき類	ガラスくず	廃石膏ボード	廃プラスチック類	紙くず	木くず・繊維くず	金属くず	塵芥	カン・ペットボトル	合計
産業廃棄物処分量	31,745.96	4,368.42	3,110.77	7,173.39	115.38	3278.65	-	-	-	49,792.57
産業廃棄物収集運搬量	12,631.53	3,464.41	262.43	400.26	43.37	872.07	-	-	-	17674.07
一般廃棄物収集運搬量	-	-	-	-	-	-	-	70.72	2.1	72.82

1-6-2,建設業許可一覧

許可番号	福岡県知事 許可(般-23) 第10979号
許可の有効期間	平成28年10月19日 から 平成33年10月18日 まで
種類	建築工事業 土木工事業 とび・土工工事業 解体工事業

1-6-3,一般廃棄物収集運搬業許可一覧

許可番号	北九一廃 第177号
許可期間	令和 2年 4月 1日 から 令和 4年 3月31日 まで
事業の範囲	A類(ふん尿を除く一般廃棄物)
積替	無
事業の区域	北九州市内

1-6-4,産業廃棄物処分量許可一覧

1. 事業範囲

事業区分	破 碎	圧 縮	破碎・減容
廃棄物の種類	がれき類・ガラスくず・廃プラスチック・木くず・繊維くず・鋳さい	廃プラスチック 紙くず	廃プラスチック
許可番号	許可番号第 7620008204 号		

2. 事業の用に供する全ての施設

施設の種類	破 碎 施 設							圧 縮 施 設		破 碎 ・ 溶 融 施 設	
	ガラスくず	がれき類	鋳さい	廃石膏ボード	廃プラスチック	木くず	繊維くず	廃プラスチック	紙くず	廃プラスチック	廃プラスチック
設置場所	福岡県北九州市小倉北区西港町125-8										
設置年月日	5. 9. 16			13. 11. 19	22. 3. 4			16. 9. 24		17. 4. 6	27. 3. 23
処理能力	320t/日	320t/日	440t/日	16t/日	4. 15t/日	6. 45t/日	1. 49t/日	1. 7t/日	2. 6t/日	0. 08t/日	0. 18t/日
許可年月日	平成30年 9月16日										
許可有効年月日	平成37年 9月15日										
許可番号	許可番号第 7620008204 号										
処理方式	破 碎			破 碎	破 碎			圧 縮		破 碎 ・ 減 容	破 碎 ・ 減 容
構造・設備の概要	RC40・RM25・KRB40			0. 425mm	30mm			プレスプラ プレス紙		インゴット	インゴット
環境保全対策	散水により 粉じん対策に努める			室内工場 集塵機 カーテンを使用 換気扇の使用	室内工場 換気扇の使用			室内工場 換気扇の使用		室内工場 換気扇の使用	室内工場 換気扇の使用

1-6,処理実績・許可一覧

1-6-5,産業廃棄物収集運搬業許可一覧

産業廃棄物収集運搬業				許可項目											備考	
都道府県及び 指令都市	積替 保管	許可の年月日及び 有効月日	許可番号	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 プ ラ ス チ ック	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	ガ レ キ 類	鋳 さい	積換保管施設の所在地及 び面積、許可の条件
福岡県	無	平成29年 5月23日 平成34年 5月22日	第4000008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
山口県	無	平成29年 6月18日 平成34年 6月17日	第3500008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
佐賀県	無	平成29年 9月 3日 平成34年 9月 2日	第4101008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大分県	無	平成29年 9月12日 平成34年 9月11日	第4408008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
熊本県	無	平成29年12月 4日 平成34年12月 3日	第4305008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

1-6-6,車両の種類と台数一覧

種類	車格	規格	台数
ダンプ	10t	9.35m×2.49m×3.00m	1台
ダンプ	10t	7.68m×2.49m×3.20m	1台
ダンプ	4t	5.35m×2.19m×2.54m	1台
着脱装置付コンテナ専用車	4t	6.75m×2.19m×2.43m	1台
着脱装置付コンテナ専用車	4t	6.78m×2.25m×2.43m	1台
着脱装置付コンテナ専用車	3t	4.35m×1.69m×1.99m	1台
キャブオーバ	2t	4.69m×1.69m×1.95m	1台
キャブオーバ	2t	4.69m×1.69m×1.96m	1台
キャブオーバ	軽	3.39m×1.47m×1.79m	1台
散水車	4t	5.76m×2.18m×2.51m	1台



# 企業理念・環境方針

## 2-1,社訓・企業理念

### 【社訓】

誠意 : は人の道なり。  
いつも真心を

創意 : は進歩なり。  
常に工夫と改善を

熱意 : は心なり。  
何事も一生懸命に

### 【経営理念】

存在理念 : 私たちは安心して  
快適な生活環境づくりを  
通じて一人ひとりの夢を  
実現します

経営理念 : 挑戦する経営  
人を活かす経営  
顧客重視の経営  
公正で開かれた経営

### 【行動規範】

行動理念 : 自律  
スピード  
チームワーク  
信頼

## 2-2,環境経営方針

# 環境経営方針

### 【基本理念】

光進工業株式会社は、「地球にやさしい企業」を目指し、石膏ボードやがれき類など産業廃棄物の100%リサイクルに向け、日々研究開発に取り組む「環境屋」です。資源を上手に活用し、環境負荷の低減を推進した事業活動を行います。

### 【行動指針】

環境経営システムを構築し、しっかりとした運用を行う事で、環境負荷の低減を積極的かつ、継続的に推進します。

そのために以下の事項を重点的に取り組みます。

- (1) 二酸化炭素の排出量削減  
使用エネルギー（電気・ガソリン・重油・軽油）の削減に努めます。
- (2) 廃棄物の排出量削減・廃棄物の分別・リサイクル  
廃棄物の排出量を削減し、分別をしっかり行う事でリサイクルに取り組みます。  
生産効率を上げ、リサイクル商品の販売促進に努め、廃棄物での新しい商品開発を行います。
- (3) 水使用量の削減  
工場内での使用水はリサイクル水を使用し、水の節水に努め、水道水使用量の削減に取り組みます。
- (4) グリーン購入の推進  
事務用品等、エコマーク商品を積極的に購入します。
- (5) 環境関連法規等の遵守  
事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。
- (6) 全社員の関わり  
弊社は【環境屋】として、全社員で環境活動に積極的に取り組み、環境意識向上に向けた社員教育を行います。
- (7) 地域社会との関わり  
地域社会とのコミュニケーションを図り、積極的に清掃活動やボランティア活動に努めます。
- (8) その他
  - ①化学物質（塗料）のMSDSを保有し、MSDSに従って化学物資を適正保管します。
  - ②環境方針を全社員に周知徹底させるとともに、社外へも文書にて公表致します。

制定日 平成23年11月1日

改定日 令和3年6月2日

光進工業株式会社

代表取締役社長 細川 忠広



### 3-1, 当年度及び中期環境経営目標

#### 3-1-1, 事務所編

環境目標		単位(*1)	平成30年度 (基準年度)	令和2年度 目標	令和3年度 目標	令和4年度 目標
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/ 百万円	896.84	887.87以下 (1%)	878.90以下 (2%)	878.90以下 (2%)
2	廃棄物排出量の削減	kg/百万円	659.26	652.66以下 (1%)	646.07以下 (2%)	646.07以下 (2%)
3	使用量(排水量)の削減	m3/百万円	4.88	4.83以下 (1%)	4.78以下 (2%)	4.78以下 (2%)
4	グリーン購入の推進促進	-	エコマーク商品の調査を行い、購入時には積極的にエコマーク商品を購入する。			
5	化学物質使用量の削減	-	化学物質の適正な管理に努める。			
6-①	総製品生産量または 総商品販売量(再生ガラス)	m3	8231.1	8313.41以上 (1%増)	8395.72以上 (2%増)	8395.72以上 (2%増)
6-②	総製品生産量または 総商品販売量(再生粒調)	m3	2152.5	2174.02以上 (1%増)	2195.55以上 (2%増)	2195.55以上 (2%増)
6-③	総製品生産量または 総商品販売量(再生埋戻)	m3	7248.5	7320.98以上 (1%増)	7393.47以上 (2%増)	7393.47以上 (2%増)
6-④	総製品生産量または 総商品販売量(エコラインA)	本	42	42.42以上 (1%増)	42.84以上 (2%増)	42.84以上 (2%増)
6-⑤	総製品生産量または 総商品販売量(エコラインB)	t	704.97	712.01以上 (1%増)	719.06以上 (2%増)	719.06以上 (2%増)
7	会社周辺の 清掃活動	実施回数	1回/月	1回/月(維持)	1回/月(維持)	1回/月(維持)

(\*1) 単位 令和2年度の売上金額(約524百万円)

(\*2) ( )の中は基準年度よりの削減%を表す

\* 二酸化炭素排出係数は、電力:0.18kg-CO2/kWhを用いた。(平成30年度 ㈱北九州パワーの排出係数)

\* 廃棄物排出量とは、自らが排出事業者となる一般廃棄物及び産業廃棄物であり、受託した一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬量は含まないものとした。

### 3-1, 当年度及び中期環境経営目標

#### 3-1-2, 工事編

環境目標		単位(*1)	平成30年度 (基準年度)	令和2年度 目標	令和3年度 目標	令和4年度 目標
1	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2/ 百万円	345.66	318.00以下 (8%)	318.00以下 (8%)	318.00以下 (8%)
2	使用量(排水量) の削減	m3/百万円	19.64	19.64(維持)	19.64(維持)	19.64(維持)
3-①	現場周辺地域との 協調・清掃活動	-	近隣挨拶及び作業後毎日清掃する。			
3-②	建設騒音 の極力防止	-	防音シートを使用し、建設騒音を防止する。			

(\*1) 単位 令和2年度の売上金額(約279百万円)

(\*2) ( )の中は基準年度よりの減少%を表す

\* 二酸化炭素排出係数は、電力:0.18kg-CO2/kWhを用いた。(平成30年度 ㈱北九州パワーの排出係数)

#### 3-1-3, 陽だまり寮編

環境目標		単位(*1)	平成29年度 (基準年度)	令和2年度 目標	令和3年度 目標	令和4年度 目標
1	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2	5217.54	4800.14以下 (8%)	4800.14以下 (8%)	4800.14以下 (8%)
2	使用量(排水量) の削減	m3	112	112(維持)	112(維持)	112(維持)
3	寮周辺の 清掃活動	実施回数	1回/月	1回/月(維持)	1回/月(維持)	1回/月(維持)

(\*1) ( )の中は基準年度よりの減少%を表す

\* 二酸化炭素排出係数は、電力:0.347kg-CO2/kWhを用いた。(平成30年度 九州電力㈱の排出係数)

## 4-1,環境経営計画

### 4-1-1,事務所編

#### 1, 二酸化炭素排出量の1%削減

取組目標		活動項目	
1	電気使用量の1%の削減	①	エアコン設定温度を決める、実行する
		②	LED・照明器具の導入を検討
		③	不要電力消費制御(不要な場合は機械を止める)
		④	昼休み・離席時の不要照明の消灯
		⑤	一定時間使用しなかった時のパソコン自動エコモード設定
2	ガソリン使用量の1%の削減	①	アイドリングストップ
		②	エコドライブの励行
		③	効率の良い運転経路の確認
		④	エコカー導入
3	軽油使用量の1%の削減	①	アイドリングストップ・回転数の見直し
4	液化石油ガス(LPG)使用量の1%の削減	①	適正な火力にて使用する

#### 2, 廃棄物総排出量の1%削減

取組目標		活動項目	
1	紙使用量の1%の削減	①	裏紙の利用
2	ゴミ排出の1%の削減	①	分別排出の徹底
		②	水分量の削減の為 干して乾燥させる

#### 3, 水の総排出量の1%削減

取組目標		活動項目	
1	節水活用と雨水の有効活用	①	節水活用の推進
		②	雨水貯水槽の計画

#### 4, グリーン購入の推進

取組目標		活動項目	
1	グリーン購入の推進	①	エコマーク商品の調査
		②	エコマーク商品への切り替え

#### 5, 化学物質使用量の削減

取組目標		活動項目	
1	化学物質使用量の削減	①	化学物質の適正な管理に努めます。
		②	化学物質の蒸発を防ぐ。

#### 6, 総製品生産量または総商品販売量の増量

取組目標		活動項目	
1	販売量の向上	①	営業活動(建設現場)を強化し、販売量向上に努める

#### 7, 地域社会との関わり

取組目標		活動項目	
1	会社周辺の清掃活動	①	現状を維持する

## 4-1,環境経営計画

### 4-1-2,工事編

#### 1, 二酸化炭素排出量の8%の削減

取組目標		活動項目	
1	ガソリン使用量の8%の削減	①	アイドリングストップ
		②	エコドライブの励行
		③	効率の良い運転経路の確認
		④	エコカー導入の検討
2	軽油使用量の8%の削減	①	アイドリングストップ・回転数の見直し

#### 2, 水の総排出量の削減

取組目標		活動項目	
1	節水活用と雨水の有効活用	①	節水活用の推進

#### 3, 建設騒音の防止

取組目標		活動項目	
1	建設騒音の防止	①	防音シートを使用し、建設騒音を防止する

#### 4, 地域との協調

取組目標		活動項目	
1	現場周辺地域との協調・清掃活動	①	近隣挨拶及び作業後の清掃

### 4-1-3,陽だまり寮

#### 1, 二酸化炭素排出量の8%の削減

取組目標		活動項目	
1	電気使用量の8%の削減	①	エアコン設定温度を決める、実行する
		②	不要照明の消灯
		③	ブレーカーにタイマーを設置する(自動電源OFF)

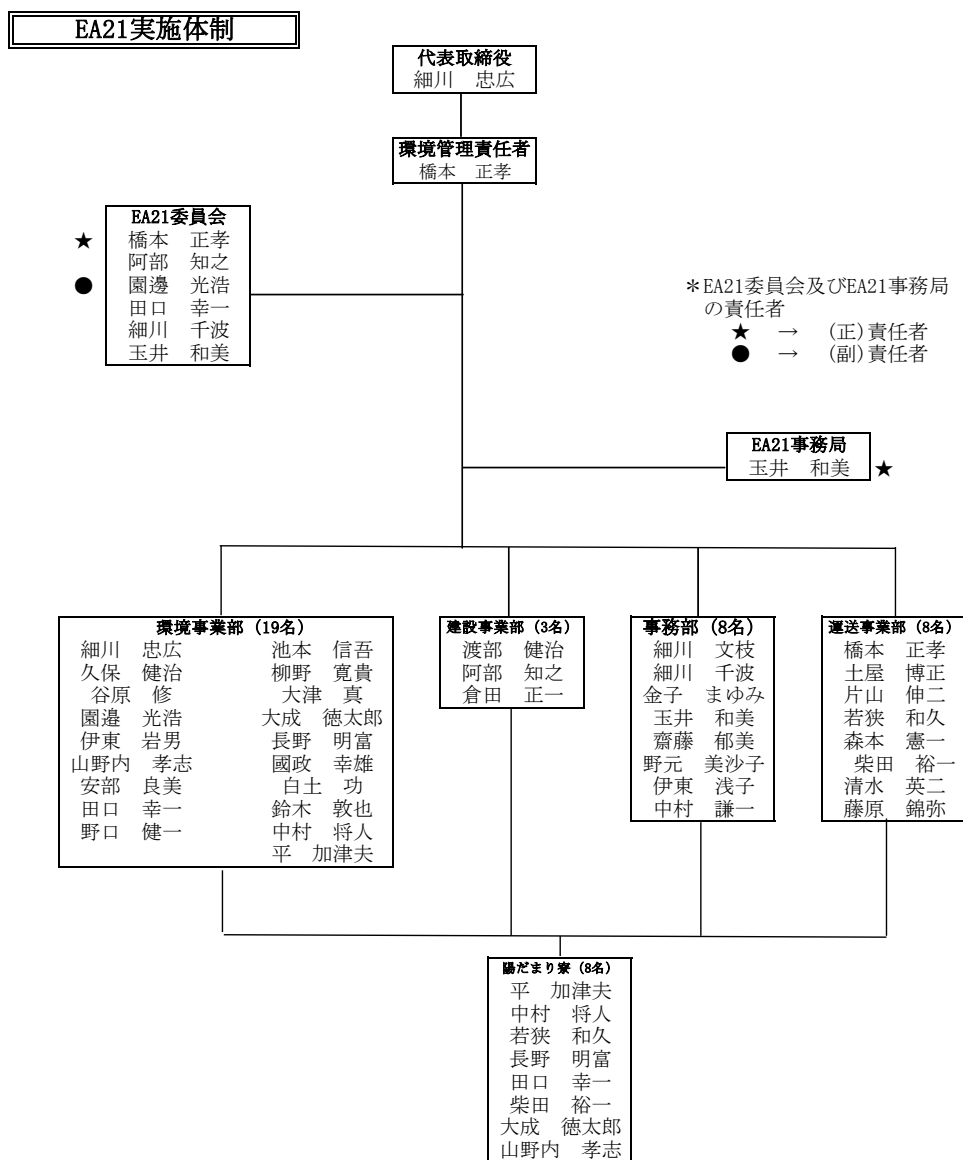
#### 2, 水の総排出量の8%の削減

取組目標		活動項目	
1	水使用量の8%の削減	①	蛇口のコマメなチェック
		②	水使用時は、最低水量で使用する

#### 3, 地域社会との関わり

取組目標		活動項目	
1	寮周辺の清掃活動	①	月1回の清掃活動

5-1,目標の実績及び次年度の取組内容  
実施体制



氏名	所属	役割・責任・権限
細川 忠広	代表取締役	全体総括、環境方針の設定、環境への取り組みを実施する為の資源準備、全体の評価と見直し
橋本 正孝	統括部長	全体の把握/環境管理責任者、環境管理システムを構築し運用し、その状況を社長に報告する。
	EA21委員会	環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する(毎月1回)
	EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
阿部 知之	建設事業部	エネルギー部門の責任者・燃料、電気、水の管理
橋本 正孝	運輸事業部	運輸部門責任者・車の燃料(ガソリン・軽油)
園邊 光浩	環境事業部	廃棄物の責任者・廃棄物の排出量管理
若狭 和久	陽だまり寮	寮の責任者・電気、水の管理

5-1, 目標の実績及び次年度の取組内容

5-1-0, 二酸化炭素排出量(全社)

413,822 kgco2/kwh

5-1-1, 事務所編

●令和2年4月～令和3年3月の運用期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	平成30年度 基準年度	令和2年度 目標	令和2年度 実績	目標の 達成率
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	366,022.72		313,171.00	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/ 百万円	896.84	887.87以下	597.65	149%
① 電気の使用量削減	kWh/ 百万円	220.40	218.19以下	245.32	89%
② 燃料の使用量削減	L/ 百万円	243.45	241以下	215.17	112%
③ 液化石油ガス(LPG)の使用量削減	m <sup>3</sup> / 百万円	0.420	0.41以下	0.51	81%
廃棄物の排出量削減	kg/ 百万円	659.26	652.66以下	491.23	133%
排出水の削減	m <sup>3</sup> / 百万円	4.88	4.83以下	5.06	95%
グリーン購入の推進	—		積極的にエコマーク 商品を購入する	調査を行い購入できた	
化学物質使用量の削減	—		化学物質の 適正な管理に努める	適正な管理が出来た	
総製品生産量または総商品販売量 (再生パラス)	m <sup>3</sup>	8231.1	8313.41以上	8,253.60	99%
総製品生産量または総商品販売量 (再生粒調)	m <sup>3</sup>	2152.5	2174.02以上	2,975.60	137%
総製品生産量または総商品販売量 (再生埋戻)	m <sup>3</sup>	7248.5	7320.98以上	10,809.00	148%
総製品生産量または総商品販売量 (エコラインA)	本	42	42.42以上	1.00	2%
総製品生産量または総商品販売量 (エコラインB)	t	704.97	712.01以上	618.22	87%
地域社会との関わり	—		1回/月(維持)	9回/年	

\* 二酸化炭素排出係数は、電力:0.18kg-CO2/kWhを用いた。(平成30年度 熊本九州パワーの排出係数)

5-1-1①, 活動計画の取組結果

●二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減

削減目標を218.19kwh/百万円としたが、この実績は目標を89%しか達成出来なかった。この要因は今まで一つの部屋でまとまって仕事に取組んでいたが、コンプライアンス順守等の関係で、別々の部屋に分かれて仕事に取組む様になったことが付与したと考えられます。これからは、今まで以上節電を心掛け、取組を実行していく。

②燃料使用量の削減

削減目標を241L/百万円としたが、この実績は目標を112%達成出来た。この要因は、重機等のアイドリングストップや休憩時間の取り方を考えた事も寄付したと考えられますが、その他にコロナ渦の為の仕事減少等も寄付したと考えられます。今後も継続して取組を実行していく。

③液化石油ガス(LPG)の削減

削減目標を0.41m<sup>3</sup>/百万円としたが、この実績は目標の81%しか達成出来なかった。この要因は、適正な火力にて使用する取組を日々きちんと取り組んでいたが年々暑さが強く、熱中症対策での麦茶沸かしが寄付したと考えられます。これからも熱中症対策も行いながら、少しでも削減できる様に、継続して取組を行っていく。

●廃棄物排出量の削減

削減目標を652.66kg/百万円としたが、この実績は目標を133%達成できた。この要因は、日々の廃棄物の分別及び裏紙利用が寄付したものと考えられます。これからも引き続き、徹底した分別を行い、取組内容を実行していく。

●排出水の削減

削減目標を4.83m<sup>3</sup>/百万円としたが、この実績は目標を95%しか達成出来なかった。この要因は、日々の蛇口閉め忘れチェックや、蛇口に節水のプレートを取付けたり、目につく事で、周知徹底は行ってきたが、年々の暑さの為、熱中症対策の麦茶準備等に例年以上に水を使用した事等が寄与したと考えられます。今後も徹底して現状の取組内容を継続して行く。

●グリーン購入の推進

購入前にカタログにてきちんと調査を行い、グリーン商品の購入が出来た。

●化学物質使用量の削減

MSDSIに従って、適正な管理が出来た。

●総製品生産量または総商品販売量

①再生パラス

販売目標を8313.41m<sup>3</sup>としたが、この実績は目標の99%しか達成出来なかった。

②再生粒調

販売目標を2174.02m<sup>3</sup>としたが、この実績は目標を137%達成出来た。

③再生埋戻

販売目標を7320.98m<sup>3</sup>としたが、この実績は目標を148%達成出来た。

④エコラインA

販売目標を42本としたが、この実績は目標の2%しか達成出来なかった。

⑤エコラインB

販売目標を712.01tとしたが、この実績は目標の87%しか達成出来なかった。

①②③⑤共に、営業努力が寄付し、今までより販売量が増えてきました。

④に関しては、営業不足による新規顧客取得が出来なかつた事が寄付したと考えられます。(現在沖縄の業者1件) 特殊な製品ではありますが、これからも営業活動に力を入れ取組んで行く。

●地域社会との関わり

活動目標を1回/月としたが、この実績は 目標の75%(9回/年)しか達成出来なかった。

この要因は、雨天の為延期した際の、その後の段取りが出来ず、実行していなかった事や、年末や年度末の忙しさで実行出来なかつた寄付したと考えられます。きちんと段取りを行い、取組を実行して行く

## 5-1, 目標の実績及び次年度の取組内容

### 5-1-2, 工事編

●令和2年4月～令和3年3月の運用期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	平成30年度 基準年度	令和2年度 目標	令和2年度 実績	目標の 達成率
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	78,811.97		93,597.00	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/ 百万円	345.66	318.00以下	335.47	95%
① 燃料の使用量削減	L/ 百万円	132.81	122.17以下	130.87	93.35%
排出水の削減	m3/ 百万円	19.64	19.64維持	11.22	175%
現場周辺地域との協調・清掃活動	—		近隣挨拶及び毎日清掃をする	日々挨拶及び清掃を行った	
建設騒音を極力防止	—		建設騒音を防止する	シートをして防止出来た	

\* 二酸化炭素排出係数は、電力:0.18kg-CO2/kWhを用いた。(平成30年度 熊本九州パワーの排出係数)  
\* 母数は工事の売上高(約279百万円)

### 5-1-2①, 活動計画の取組結果

#### ●二酸化炭素排出量の削減

①燃料使用量の削減 削減目標を122.17L/百万円としたが、これの実績は目標の93.35%しか達成出来なかった。  
この要因は、昨年に比べコロナ渦という事も関与し、近隣の現場受注量が減少したため、遠方の現場が多かった事が寄与したと考えられます。  
日々の取組を再度確認し、エコドライブ・アイドリングストップの取組を引続き継続して取り組んで行く。

#### ●排出水の削減

削減目標を19.64m<sup>3</sup>/百万円としたが、これの実績は目標の175%達成出来た。  
この要因は、昨年に比べコロナ渦という事も関与し、受注量が減少した事により、散水作業が減少した事や、今まで周知徹底してきた無駄の無い利用が寄与したものと考えられます。  
これからも取組を実行して行くと共に、近隣の方々のご迷惑にならない様に、取り組みを実行して行く。

#### ●現場周辺地域との調和・清掃活動

周辺地域とのコミュニケーションを大切に、挨拶及び清掃活動を行った。

#### ●建設騒音を極力防止

建設騒音防止の為、RC現場では、きちんとシートをして騒音を防止出来た。

### 5-1-3, 陽だまり寮編

●令和2年4月～令和3年3月の運用期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	平成29年度 基準年度	令和2年度 目標	令和2年度 実績	目標の 達成率
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	5,217.54		7,054.00	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	5,217.54	4800.14以下	7,054.79	68%
① 電気使用量	kWh	11,269.00	10367以下	19,067.00	54%
排出水の削減	m3	112.00	112維持	610.00	18%

\* 二酸化炭素排出係数は、電力:0.347kg-CO2/kWhを用いた。(平成30年度 九州電力(株)の排出係数)

### 5-1-3①, 活動計画の取組結果

#### ●二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減 削減目標を10367kWhとしたが、これの実績は目標の54%しか達成出来なかった。  
この要因は、コロナ渦という事も関与し、部屋で過ごす時間が増えた事が寄与したと考えられます。  
今後も引続き取組を実行して行く。

#### ●排出水の削減

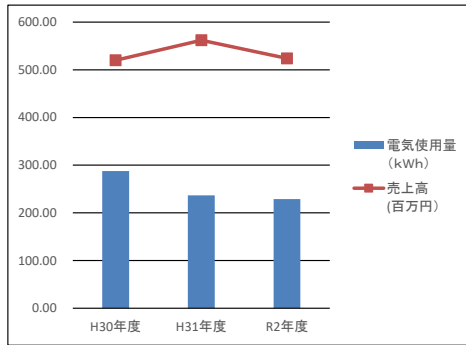
削減目標を112m<sup>3</sup>としたが、これの実績は目標の18%しか達成出来なかった。  
この要因は、コロナ渦という事も関与し、寮で過ごす時間が増えた事や全ての水利用場所が、共同場所の為、寮生の一人一人が再度取組を確認し現状以上にチェックを行い、取組を実行して行く。

5-1,目標の実績

5-1-4,別表(グラフ)

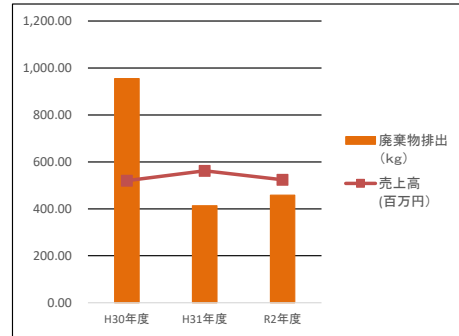
【事務所・工場編】

《電気》

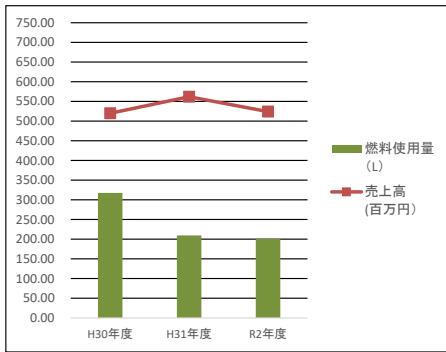


↓  
基準年度

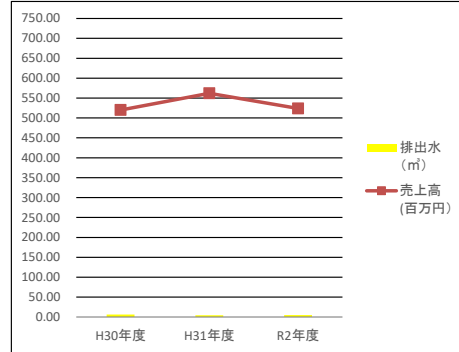
《廃棄物》



《燃料》

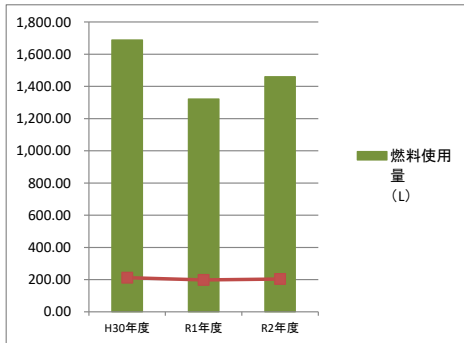


《排水水》



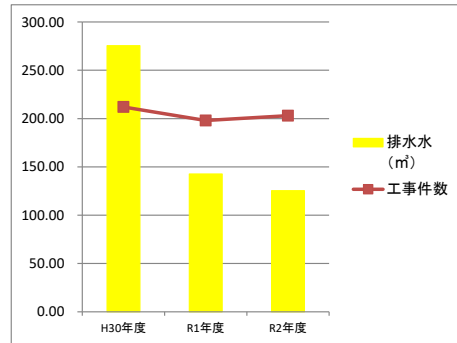
【工事編】

《燃料》

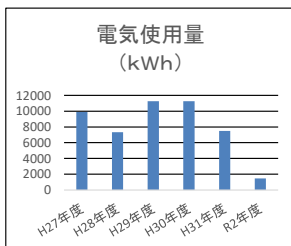


↓  
基準年度

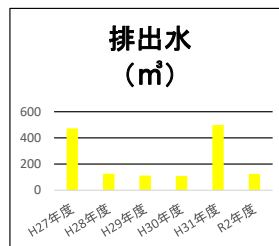
《排水水》



【陽だまり寮編】



↓  
基準年度





## **5-2,次年度の環境経営計画の内容**

次年度の取組内容は、引続き同じ内容にて取組こととする。

ただし、従業員(障害者)の様子を見ながら、少しずつ新たなアクションを取組に入れて行くこととする。

## **6-1,環境関連法規への違反、訴訟等の有無**

環境関連法規への遵守状況をチェックの結果違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も

過去3年間ありませんでした。

## 7-1,代表者による全体評価と見直し結果(総評)

昨年から続くコロナウイルス問題が会社経営を大きく変化させました。しかし、このエコアクション21の取り組みがこの大きな渦から会社を救ってくれたといっても過言ではない様に感じます。環境経営を今一度しっかりと見つめ直し、この取り組みが会社の健全経営に一番近道であるという思いを経営幹部にもしっかりと落とし込む必要があると痛感した年でした。2021年7月から大きく組織が変わるに当たり、今までリーダーシップを発揮して頂いた橋本部長や玉井課長に感謝しつつ、この取り組みが今後のグループ組織全てに浸透して行ってくれることを切に願います。

それでは、ここからこれからの未来を大いに語りたい所ではありますが、そこを語る前に、これまでの取り組みに対する冷静な評価をしなければなりません。コロナと言う大きな変革期であったという事を加味しても「充分頑張っていた」という評価には届かないと取って代り厳しい意見を率直にお伝えいたします。我々は誰のためにこの取り組みをしているのでしょうか。何のために行っているのでしょうか。そういった基本に今一度立ち返り、5W1Hではないですが、未来に向かって走っていくためにも「原点回帰」が今回のパワーワードではないでしょうか。光進工業株式会社が創立50周年という大きな節目にあり、そういった意味を鑑みても「原点回帰」というワードはきれいに当てはまるのではないのでしょうか。

さて、ここからは未来を大いに語りたいと思います。令和に入りデータで見る環境負荷軽減はそろそろ限界値が見え始めて来たのではないのでしょうか。ここが我々の踏ん張り処だと思っています。売り上げを上げて行く過程でどうしても負荷が生じていますが、その分、いかに他で軽減できるのかを検討したいと思います。特に、今後はグループ編成も行われ新たなグループ5社として出発します。これまで光進工業株式会社として行って来た事を光進ホールディングス株式会社として引継ぎ、事業非設置会社としてエコアクション21の取り組みを率先して行わなければならないと考えます。また、グループ経営の中核を担う会社としても、子会社4社への教育指導を徹底して参りたいと思います。

前回は書きましたが、このエコアクションの審査時期は巧妙だと感じています。いつも、そろそろ中だるみする時期だな、何となく飽きて来たよな、そんな時期に審査日程がやってきます。そのおかげでこれまでやってこれたと思っています。

令和3年6月2日

**光進工業株式会社**

代表取締役 細川 忠広

# 8-1,取組内容

## 取組内容～1～



不要な電球は取り外しています。

### 【ゴミの量を減らす為、取り組んでいます】



水分を飛ばす為  
干しています

肥料にし  
菜園等に  
使用しています

### 【省エネの為、受付天井の工事をしました】



# 8-1,取組内容

## 取組内容～2～



トイレ

節水への呼びかけ

トイレ



台所



洗濯場



トイレタンクの中に  
ペットボトルをいれてます。



節電への呼びかけ。



設定温度を決めています。



給湯器は最低温度(37℃)を  
保っています。



全車に貼り付け、  
エコドライブを推進しています。



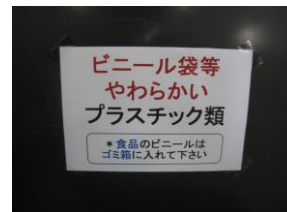
重機全台に貼り付け、  
呼びかけてます。





# 8-1,取組内容

## 取組内容～3～



ゴミは分別してリサイクルしています。

絵を入れて、  
分りやすく  
しました。



呼掛けチラシを、  
新たにし、意識  
改善 UPを目指  
しています。



プラスチック



紙



ビニール



アルミ・スチール・びん・ペットボトル  
に分別してます。



プルトップとキャップは別に  
分けてます。

## 8-1,取組内容

### 取組内容～4～

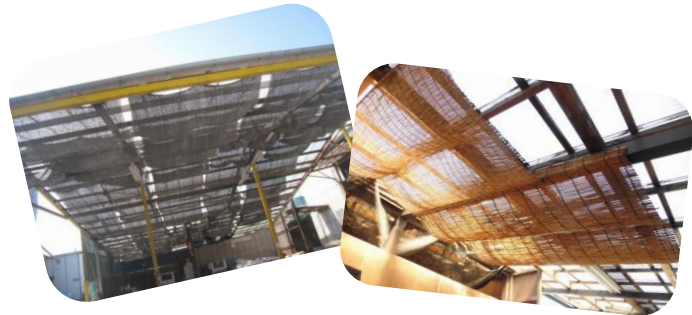
#### 【清掃活動】

R2.10.6 地域清掃を行いました



完了

#### 【対策①】



電気使用量削減の為、ネット・すだれを設置し、暑さ対策を行ってます！！

#### 【対策②】



消費電力  
150W  
水銀灯の  
3分の1

寿命は  
水銀灯の  
5倍以上



電気使用量削減の為、工場照明器具を「エコ太郎」に、取り替えました！！



## 8-1,取組内容

### 取組内容～5～

#### 【その他】



朝の声掛け運動



ヒヤリハット会議



免許証チェック



アルコールチェック



No残業dayの呼びかけ



古切手を集めて、寄付してます



年2回の献血活動



第47回福岡県献血運動推進大会にて、感謝状を頂きました



グリーンカーテンに挑戦しました！！



H30.10.10  
「北九州市環境にやさしい事業所」  
に認定して頂きました！！

## 8-1,取組内容

### 取組内容～6～

#### 【その他】

- 弊社は、同じ地域に出来た、仮出所者更生保護施設からの元受刑者や、生活保護受給者達の社会復帰の支援や児童相談所からの未成年の保護活動を積極的におこなってます。



平成25年9月28日  
北九州市より  
協力事業主として表彰されました



平成25年4月10日 ・ 平成25年8月5日 ・ 平成27年5月17日  
新聞に掲載されました



ソプロチミスト日本財団様より  
社会ボランティア賞を頂きました



福岡保護観察所より  
更生保護事業の功績をたたえて  
感謝状を頂きました



福岡ひびき信用金庫様より  
地域社会貢献部門の福岡ひびき経営者賞を頂き



平成27年4月 1号館完成



令和元年6月 2号館完成

**2号館OPEN**

### 【光進工業(株) 陽だまり寮】

民間企業で日本初！！ 社会復帰を目的とした更生支援寮を建てました





# 9-1, 廃棄物処理フロー図

フロー図~1~

**Reuse ガレキ・ガラス処理工場 ●コンクリートガラを再生します**



**引き取り**

各現場へガラを引き取りに行きます。もちろん、1台分の引き取りから行かせ頂いております。

**MEMO**  
車に乗っているのは巨大な量りです。



**小割**

大きなガラを人頭程度の大きさに割り、投入。コンクリートガラを再生品へと作っています。



**ガレキ工場全景**

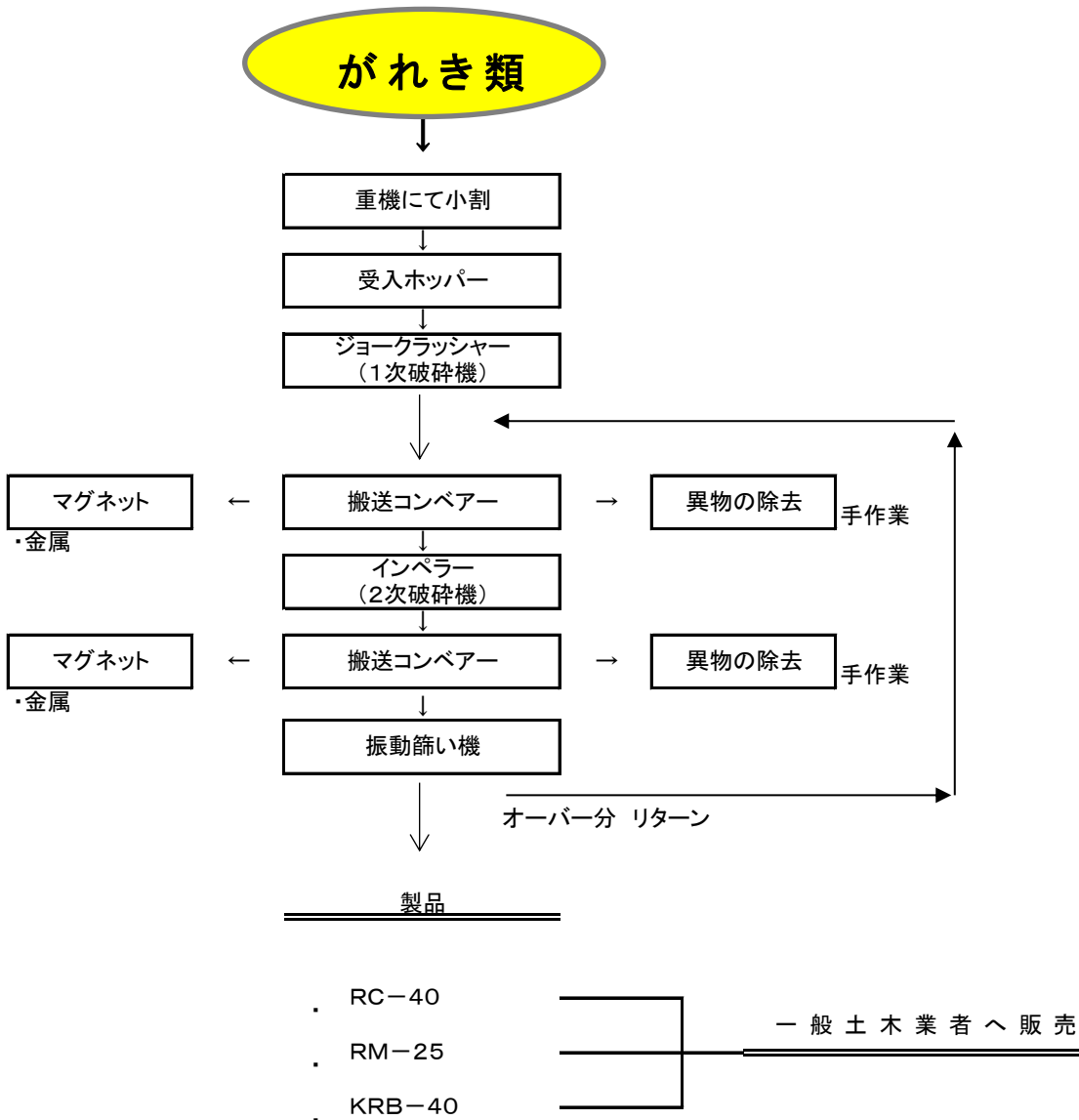
処理対象物 / ガレキ類  
ガラスくず  
処理方式 / 破砕  
処理機能 / 40t/h



**再生材**

再生品のサイズは…

- RC-30    ●RC-40
- RM-25   ●RM-40
- KRB-40   ●再生砂 (生産予定)



# 9-1, 廃棄物処理フロー図

フロー図～2～

**Reuse ガレキ・ガラス処理工場 ●コンクリートガラを再生します**

**引き取り**

各現場へガラを引き取りに行きます。もちろん、1台分の引き取りから行かせ頂いております。

**MEMO**  
車が乗っているのは巨大な量りです

**小割**

大きなガラを人頭程度の大きさに割り、投入。コンクリートガラを再生品へと作っています。

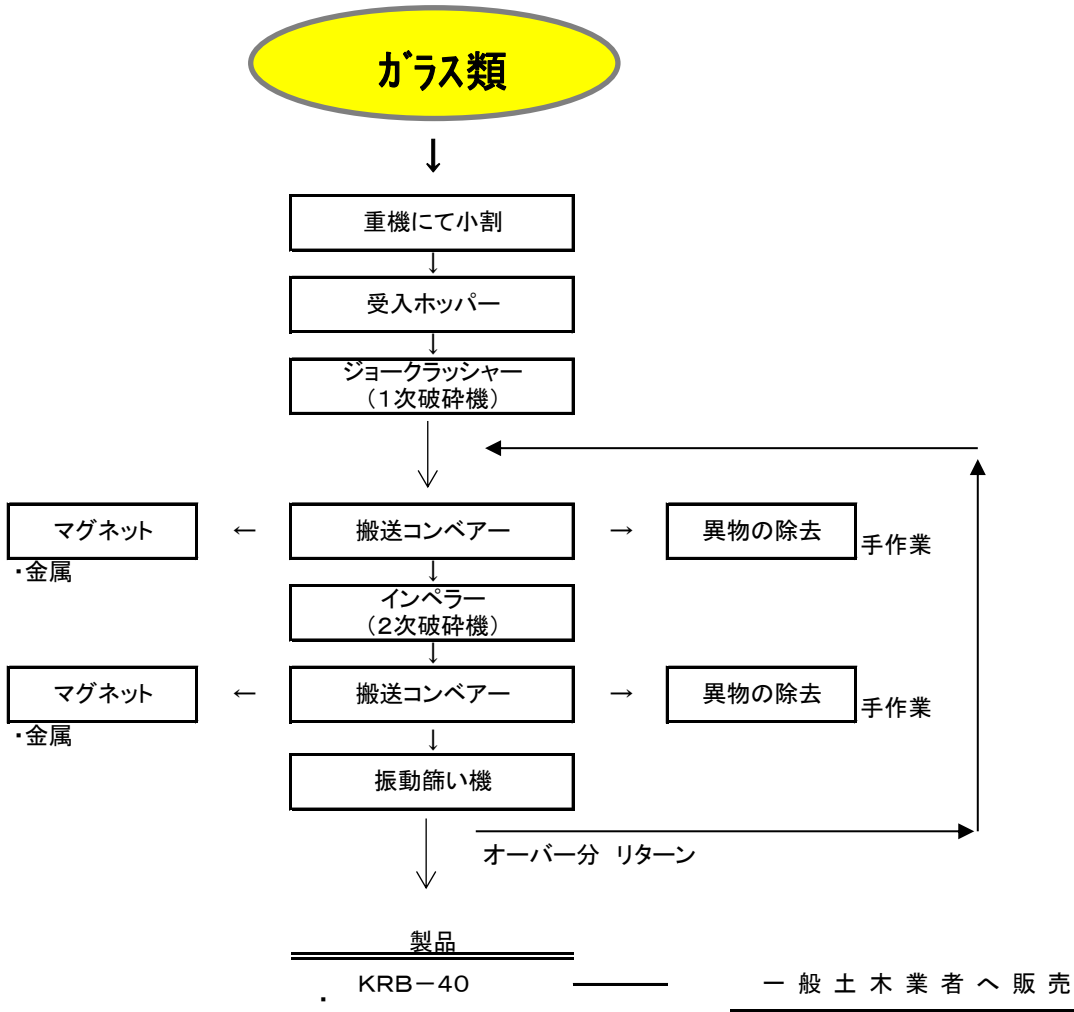
**ガレキ工場全景**

処理対象物	／ガレキ類 ガラスくず
処理方式	／破砕
処理機能	／40t/h

**再生材**

再生品のサイズは…

- RC-30      ●RC-40
- RM-25      ●RM-40
- KRB-40    ●再生砂  
(生産予定)



# 9-1, 廃棄物処理フロー図

フロー図~3~

## Reuse 廃石膏ボード処理工場 ●新築破材・解体破材の両方を処理します

**MEMO**  
解体破材とは?  
家屋の解体時に出る破材のこと



解体破材



**MEMO**  
エコブロックは…  
汚泥処理に使用しています。



エコブロック

**MEMO**  
新築破材とは?  
家屋の新築時に出る破材のこと



新築破材

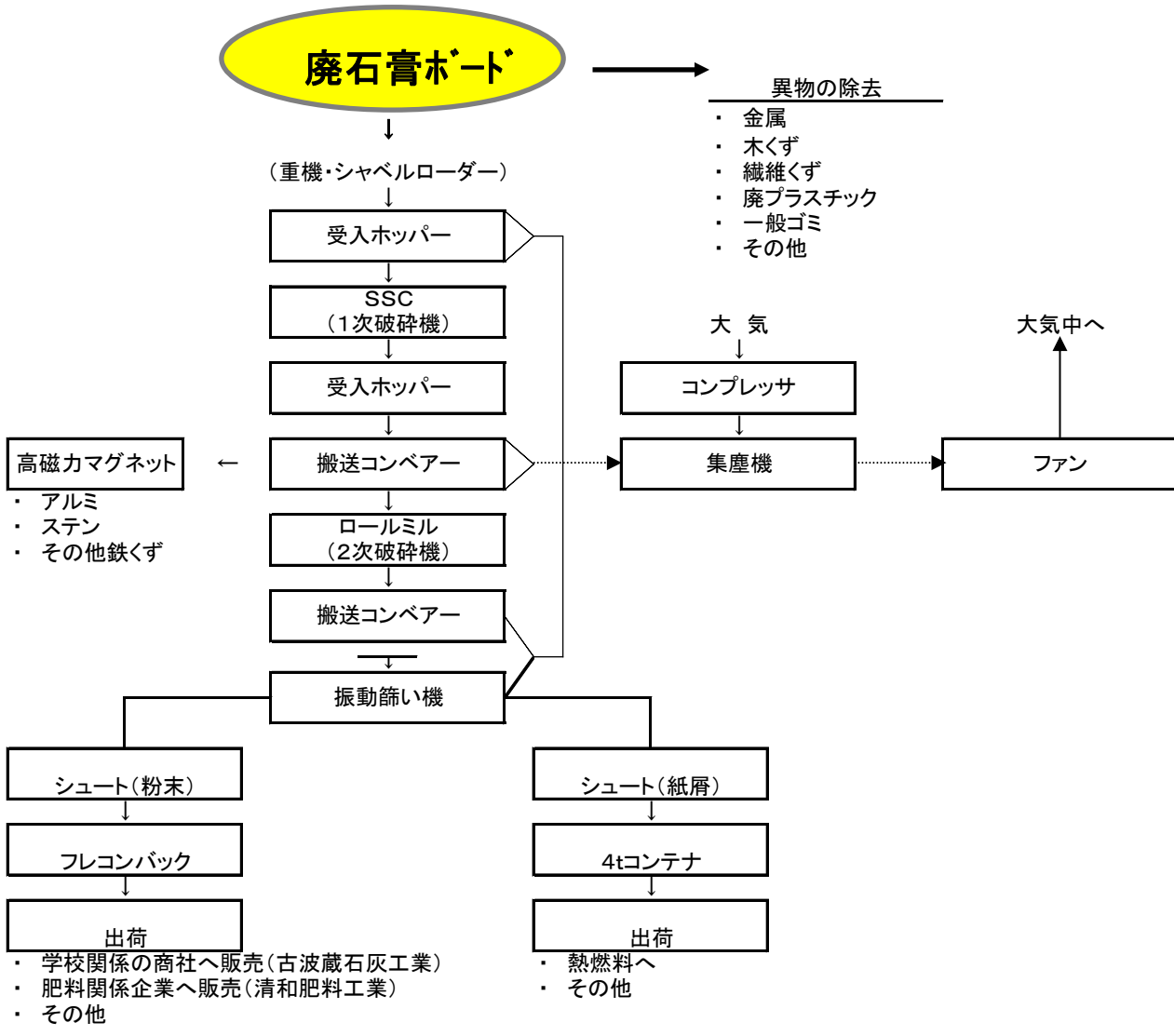
処理対象物	廃石膏ボード
処理方式	破砕
処理機能	2t/h

**MEMO**  
エコラインは…  
肥料関係の原料にされ、グラントのライン引きにも使用しています。



エコライン

九州初のリサイクル石膏です。日本国内においても**希少価値**が高い製品です。



# 9-1, 廃棄物処理フロー図

フロー図~4~

## Reuse 廃プラスチック破碎工場 ●硬質材の破碎処理をします

素材ごとに、分別・破碎し各素材の原料としてリサイクルされます。硬質系のプラスチック類は30mmに破碎します。



塩ビ缶



車のバンパー等

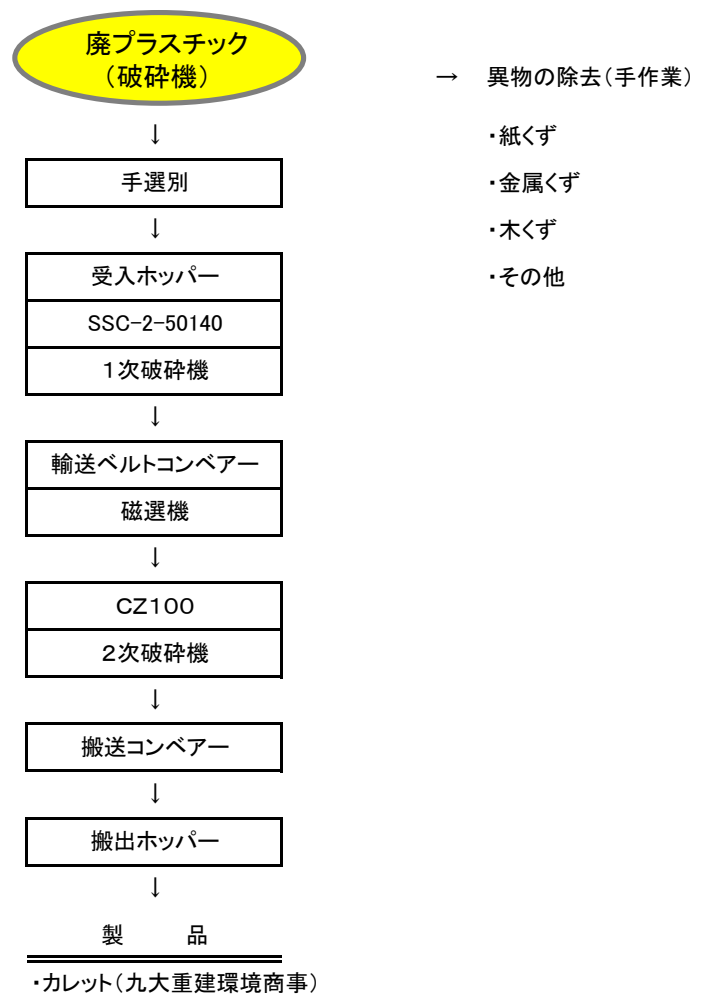


C250 粉碎機  
処理機能 / 165kg/h



拡大図

**MEMO** 粉碎処理済みのものは、塩ビ缶など、プラスチックの原料になります



## 9-1, 廃棄物処理フロー図

フロー図～5～

### Reuse 発泡スチロール破碎・減容工場 ●発泡スチロールを減容します

オフィスなどから搬出される事業系の廃棄物であるプラスチック類の発泡スチロールを投入→貯留→破碎→熔融の工程で減容します。



発泡スチロール



スチールポスト  
SPB-10

処理対象物	発泡スチロール
処理方式	電気ヒーター間接加熱方式
処理機能	10kg/h
処理品重量	9～10kg

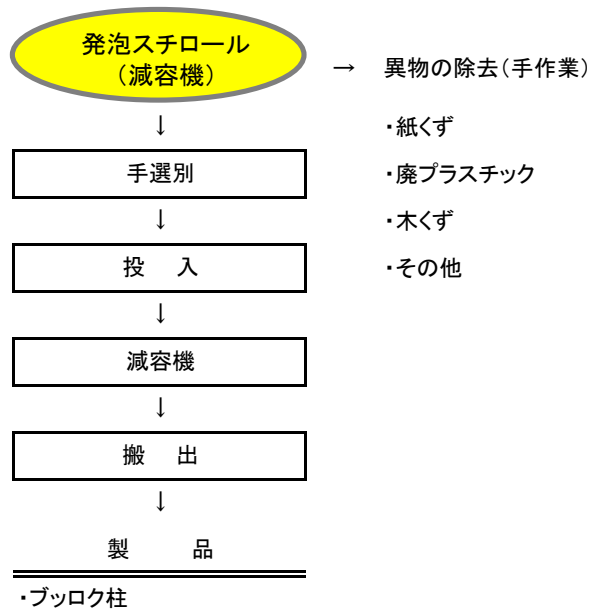


減容され、生成されたインゴット

減容されたインゴット品は各素材の原料としてリサイクルされます。

**MEMO**

魚箱で1/100の容量まで減容します。





## 9-1, 廃棄物処理フロー図

フロー図～6～

### Reuse 紙・廃プラスチック圧縮工場 ●紙、廃プラ、ビニール系等の圧縮処理

オフィス等から輩出される事業系の廃棄物である紙くず・段ボール・硬質系プラスチック・ビニール系等を15tの圧力で圧縮して行き1/3～1/10までに減容します。圧縮されたプレス品は各素材の原材料としてリサイクルされます。

**MEMO**

軟質廃プラスチックとは？  
お菓子の個別包装の袋等のこと



段 ボ ー ル



ビ ニ ー ル



NCP130S

処理機能 / 250kg/h



#### 圧縮済み段ボール



**MEMO**

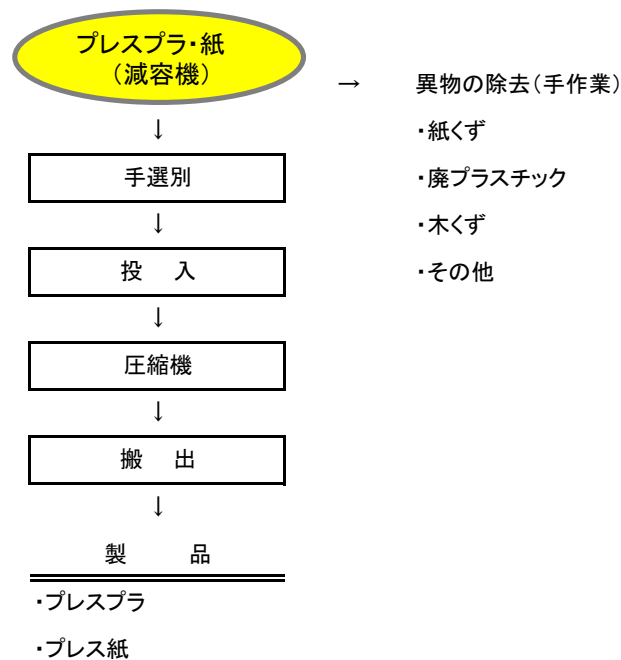
再生紙の材料になります

#### 圧縮済みビニール



**MEMO**

再生ビニールとして再利用されます



9-1, 廃棄物処理フロー図  
フロー図～7～

**Reuse 木くず工場** ● 廃木材を再資源化します

廃木材の一次・二次処理能力は、日産4.8トンで30mmに破碎し、木くずチップとして再資源化しています。



廃木材



一次破碎

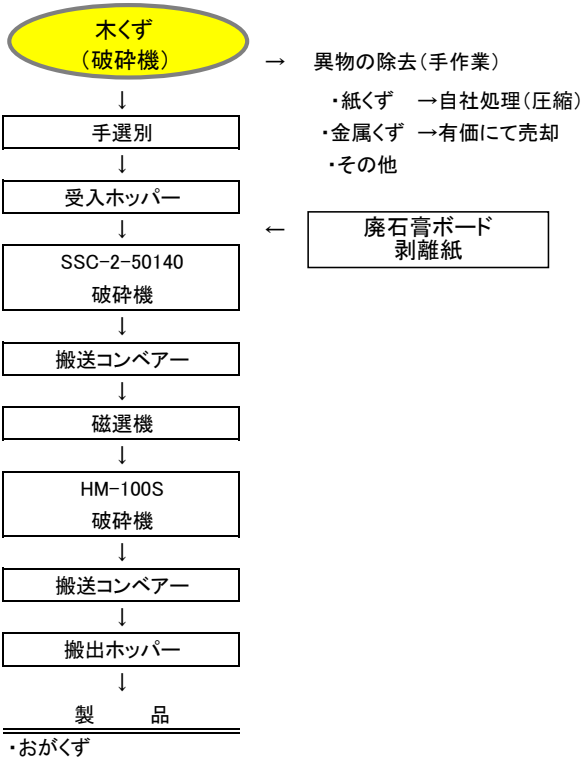


二次破碎



木くずチップ

**MEMO**  
木くずチップは、ボイラー燃料になります。



納入先：木材開発へ売却  
バイオマスボイラー燃料として使用されます。



納入先：木材開発へ売却  
バイオマスボイラー燃料として使用されます。

# 9-1, 廃棄物処理フロー図

フロー図~8~

